

後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針評価書

政 策 : 04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

基本施策 : 01 活力ある都市づくりの推進

主管課長職・氏名	都市政策課長 佐藤 志貴
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の令和 4年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	都市計画、住宅、公園、景観など都市に関する施策の推進により、魅力と活力が満ち安心で充実した日常生活を送ることができる都市づくりを目指します。
--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	74.1	75.6	77.1	78.5	80	80	B
			70.6	68.8	74.7	78.5	78.5	74.6
2	幸福 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	76	77	78	80	80	C
			69.1	68.1	71.2	75	75	7.4
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 04010100 いつまでも住み続けたいまちづくり 住民基本台帳（9月末）による人口 単位 人	55,211	55,600	56,100	56,500	57,000	57,000	C
			55,422	55,524	55,668	55,377	55,377	9.3
2	暮らし 04010200 みんなで考え、使い、育む公共交通 市内のバスや電車は便利で利用しやすいと思っている人の割合 単位 %	32.4	34	36	38	40	40	C
			32	35.2	31.8	34.2	34.2	23.7
	単位							
	単位							
	単位							

後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

基本施策：01 活力ある都市づくりの推進

主管課長職・氏名	都市政策課長 佐藤 志貴
関係課長職・氏名	

2. 基本施策の実現に向けての令和 4年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> 市役所前の中心拠点商業地区の整備について、関係機関との協議や補助金の検討を行いました。 空き家対策について、滝沢市空家等対策計画に基づき、特定空家等の認定と空き家の利活用策の検討を行いました。 公園維持管理について、滝沢総合公園施設長寿命化計画及び滝沢市都市公園等遊具更新計画に基づき、滝沢総合公園及び一般公園を計画的に整備・更新を進めました。 小岩井駅周辺整備について、公衆トイレ工事（解体・新築）が完了しました。また、駅舎改修について、地元自治会やJRと協議を行い事業推進を図りました。 公共交通について、滝沢市地域公共交通網形成計画に基づき、実証運行や利用促進などの各施策に取り組みました。 	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、令和 4年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
<p>【重点課題】</p> <p>市役所周辺の中心拠点の形成、交通結節点の環境整備や公共交通の利用促進、良好な住宅環境形成のため空家等対策計画の施策に取組みます。</p> <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <p>中心拠点の形成については中心拠点商業地区の整備を推進し、公共交通の利用促進については交通事業者へ支援金の交付やイベントなどを行い、良好な住環境形成については特定空家等の認定など空家等対策計画の施策に取り組みました。</p>	

3. 基本施策の実現に向けての令和 4年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>新型コロナウイルス感染症の影響、ライフスタイルの変化等により公共交通事業者の収益が減少しています。</p>	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>新型コロナウイルス感染症等による社会環境の変化を注視するものの、政策達成のため引き続き同一内容の基本施策の実施が必要であり、見直しの必要はありません。</p>	

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 6年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <p>引き続き中心拠点形成の実現に向け、各関係機関と協議を進めるとともに、交通結節点としての環境整備を図るなど将来的な土地利用と公共交通が連携したまちづくりを推進してまいります。</p> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ収束後の公共交通事業者への支援の継続 小需要交通地域の交通網の形成 特定空家等の除却、空き家の利活用促進に係る補助制度等の策定 	

